

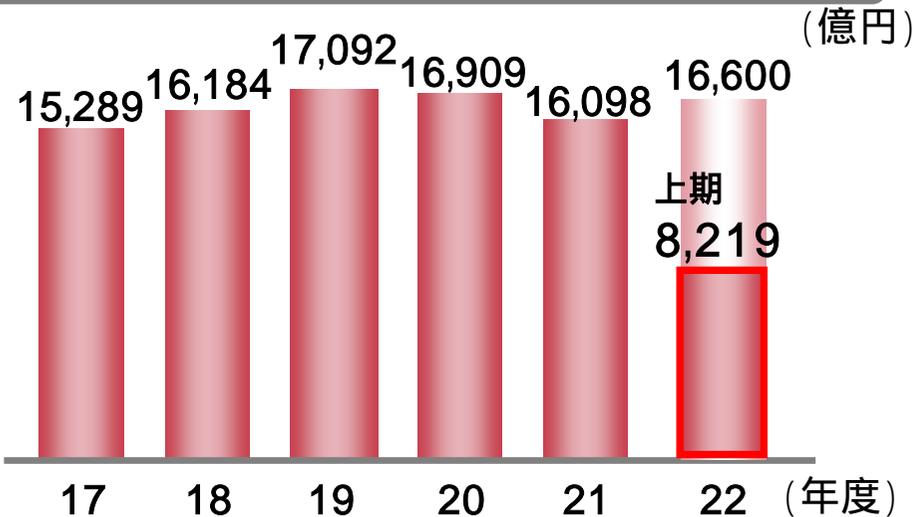
平成23年3月期決算に向けて

平成22年11月11日
大和ハウス工業株式会社

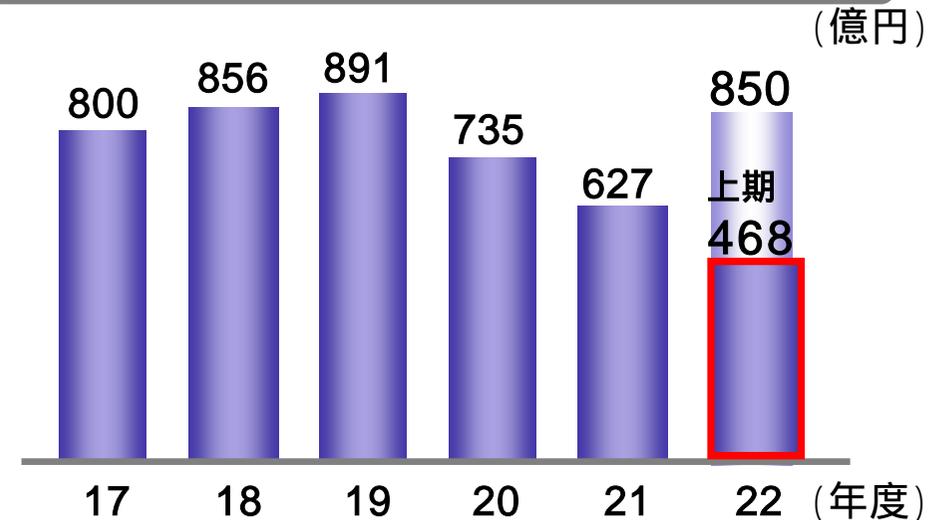
(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。
今後実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

売上高



営業利益



平成22年度の重要戦略

上期の実施内容

「環境」「高齢化」を切り口とした
コア事業の提案力強化

- ▶ 『SMA × Eco HOUSE』オープン、実証実験開始
- ▶ 医療介護施設の提案強化(実績 49棟 売上高90億円 前年比57%増)

ストック市場における
事業規模拡大

- ▶ 賃貸住宅におけるリフォーム受注の拡大
(受注高66億円 前年比93.4%増)
- ▶ コンビニ向け次世代省CO2モデル事業の実棟検証開始(5棟)

中国における
不動産開発の推進

- ▶ グレース・レジデンス (蘇州22年5月～ 第 期販売386戸 客付数328件)
- ▶ イワ・セイカイ (大連22年8月～ 第 期販売 891戸 客付数533件)

キャッシュフロー経営の
徹底

- ▶ ネットD/Eレシオ 0.45 0.41 へ改善
- ▶ フリーキャッシュフローの黒字化

(億円)

事業領域	売上		営業利益		今後の主要施策
	21年度実績	22年度計画	21年度実績	22年度計画	
戸建住宅	3,259	3,250	62	148	【着工戸数の低水準長期化を見据え、取りこぼしを無くす】 商品ラインナップの拡充(狭小地対応力強化) 外構・インテリアなどの提案体制整備 住み替えや改築などニーズを取り漏らさない事業の連携
賃貸住宅	4,490	4,805	386	415	【増加する単身世帯(30～40歳と高齢者)への受け皿となる】 三大都市圏向け営業体制と商品ラインナップの強化 高齢者向け賃貸住宅の供給拡大 社宅業務提携の受託拡大
マンション	1,193	1,335	183	30	【少人数世帯の増加と経年劣化に伴うビジネスの本格始動】 コンパクトマンションの開発促進 千里ニュータウンなど老朽化した住宅団地の建替え事業強化 管理業務のリプレイス強化
住宅ストック	469	595	17	40	【不満・不具合の解消手段 本格的に新築と比較する時代へ】 床下点検ロボット導入による診断サービスのレベル向上 ホームセンターと連携した営業拠点の展開加速(在来木造の拡販) 買取再販・住み替え支援など多様化する住宅ニーズへの手法整備

(億円)

事業領域	売上		営業利益		今後の主要施策
	21年度実績	22年度計画	21年度実績	22年度計画	
商業施設	2,856	2,760	344	325	【バブル時に大量供給された商業施設の契約更新が急増】 期間満了物件の建替え・改装の受注拡大 施設の管理・運営機能増強 中小規模の施設保有を推進
事業施設	1,962	1,865	217	120	【高齢者の単身世帯増加と物流施設の高機能化】 政策と連動した高専賃など健常高齢者向け住居施設の強化 物流施設の環境ニーズ及び加工物流機能等への対応力強化
健康余暇	571	595	5	0	【高齢者を中心としたこだわり旅行志向と少子化への対応】 国内個人向けの会員化促進と販促企画強化(リゾートホテル) 語学を含めた総合型キッズスクール導入(フィットネスクラブ)
その他	2,109	2,210	10	27	
(消去又は全社)	(812)	(815)	(222)	(255)	
合計	16,098	16,600	627	850	